

# **個別事業説明書【PR版】**

**中予地方局**



# 1 eスポーツ地域生きがいづくり推進事業費（中予）

令和6年度当初予算（案）  
予算額 2,608千円

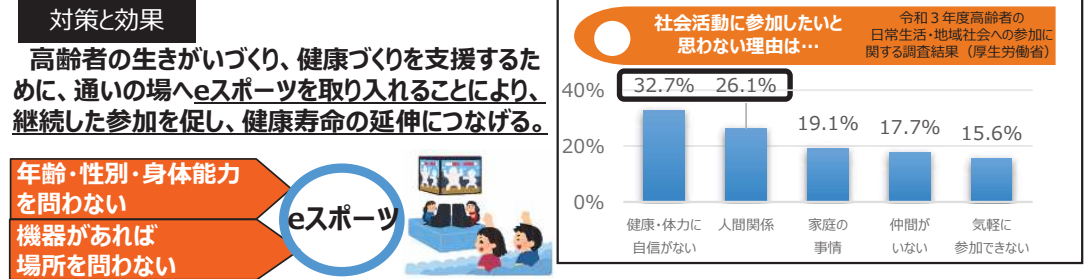
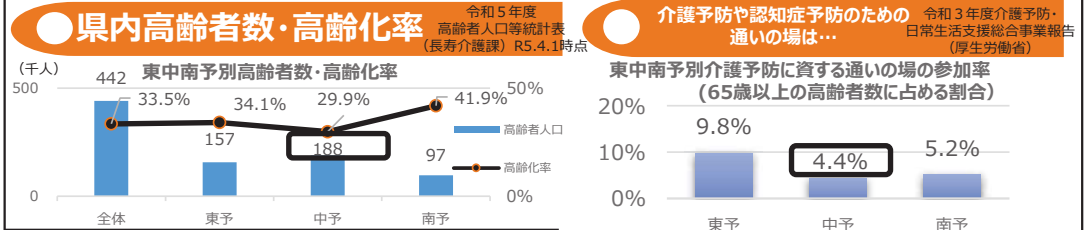
高齢者の増加に伴い要介護者等が増えている中、健康寿命を延ばすためには社会活動への参加が有効であるが、特に中予では「通いの場」への参加率が低いことから、eスポーツを通いの場へ取り入れる等により、高齢者の生きがい・健康づくりを支援する。

お問い合わせ先  
中予地方局健康福祉環境部  
地域福祉課  
(089-909-8756)

指標	施策	7 シニアが活躍できる社会の推進 KGI 地域社会活動に参加している65歳以上の割合	現状値 15.6% (R4年度) 目標値 23.2% (R8年度)
	細施策	7-1 高齢者の社会参画支援 KGI ねりんピック対象競技参加者数	現状値 - 目標値 10,000人 (R8年度)

**事業イメージ** KPI 本事業を通じてeスポーツに継続参加した高齢者数 (モデル事業として効果検証するための必要数) 現状値 - 目標値 160人 (R6~7年度累計)

**現状と問題** 中予の高齢者数は東中南予で最も多いが、「通いの場」の参加率は最も低い。その理由は、「健康・体力に自信がない」「友人・仲間がいない」などとなっている。



**中予で取り組む意義**

効果が期待できるターゲット層(※)の人数が最も多い一方で、通いの場への参加率が低い中予管内で、効果検証のできる専門機関 (県立医療技術大学) と連携して実施 (※)元気な高齢者から要介護1程度の高齢者

**事業概要**

**1 高齢者楽しみ・生きがいづくり推進事業 1,865千円**

管内6市町のうち、eスポーツの導入実施及び効果検証を希望する3市町を選定

地区公民館等の「通いの場」でモデル的にeスポーツを導入し、新たな楽しみ・生きがいづくりを推進

※通いの場：地域の住民同士が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げる場所

実施場所	実施頻度	実施人数	
各市町 2か所	週1回~ 2週に1回	初年度 3市町 40人	(実施に先立ち3市町で体験会を開催)
		2年度 6市町 120人	

**2 高齢者楽しみ・生きがいづくり検証事業 743千円**

県立医療技術大学と連携し、eスポーツの導入効果の測定、検証結果を公表

同一人に対して、6か月継続して効果測定することにより、

- 主観的効果：体験者の健康意識の変化
- 客観的効果：機能面（認知機能、運動機能、コミュニケーション機能）の維持向上を検証

**3 中予地方局公式SNS発信事業 0千円 (ゼロ予算)**

eスポーツ導入の様子等を公式Instagram等に掲載

- ・高齢者や他自体に対し、事業の周知や参加を促す
- ・中予からeスポーツの新たな可能性を発信

R8年度以降… 2年間の効果検証を踏まえ、全県で展開